



兵庫県福崎町

神崎郡福崎町南田原3116番地1
 担当課：健康福祉課
 〒679-2280
 ☎0790-22-0560 FAX0790-22-5980
<http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/>

本町のデータ

(1)面積 45.82km² (平23.2.1)

(2)人口 (人)

	35国調	12国調	17国調	平23.5.31住基
男	7,850	9,316	9,903	9,347
女	8,462	10,266	10,766	10,305
計	16,312	19,582	20,669	19,652
65歳以上人口比率(17国調)				20.4%

(3)世帯数

	35国調	12国調	17国調	平23.5.31住基
	3,337	5,697	6,359	7,167

(4)産業構造

区分	就業人口 45国調	就業人口 17国調
1次	2,272人 25.9%	452人 4.6%
2次	3,061人 34.8%	3,590人 36.8%
3次	3,457人 39.3%	5,655人 57.9%
分類不能	2人	66人
計	8,792人	9,763人

本町の概要

福崎町は、昭和31年5月3日、田原村、八千種村、旧福崎町の1町2村が合併して誕生しました。古くから交通の要衝として栄え、周囲を緑の山にかこまれ、中央部を清流市川が流れています。豊かで、調和のとれた自然環境は、中核田園都市として躍進する町の誇りです。

観光では、町内にある国・県指定の重要文化財や七種山をはじめとする豊かな自然環境の効果的な活用を図り、町内外に観光資源を積極的にアピールするほか、広域観光ルートの形成を進め、道路や駐車場を整備し、農林業・商業との連携を強化し、観光の振興を図ります。

また、日本民俗学の父、柳田國男が生まれた福崎は、もちむぎの産地として全国に有名です。

もちむぎは、一般的な麺に使用される小麦と比べ灰分が多く、高タンパク・高ミネラルで、コレステロールを低下させる働きがあるといわれるβ グルカンを多く含んでいます。一見するとそばのようですが、食べてみるとコシのあるうどんのよう。独特の香ばしさが人気を呼んでいます。



福崎町キャラクター
フクちゃん・サキちゃん

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

福崎町では、自殺者数が、年間数名の割合で推移しています。自殺者の背景には、経済・生活・健康問題等が複層的に重なっている状態です。そこで、まずは幅広い年齢層を対象に、自殺対策の予防普及啓発を行う事を目標に、各関係機関と連携しながら事業を展開しています。また合わせて、相談体制の強化推進を図るよう努めています。

<具体的な取組み>

(1) 関係機関との連携

① 連絡会議の実施

(構成: 県健康福祉事務所、県保健所、警察署
郡内町役場担当部署、町保健センター等)

② 地域連絡会の実施

(構成: 県保健所保健師、精神科病院PSW、作業所職員、
精神障害者相談員、役場健康福祉課、社会福祉
協議会職員 等)

(2) 専門相談体制

○ 健康相談

相談者個々に対して、心身の健康に関する助言等を実施。

相談日: 毎月第2月曜日 (一般相談) 9時30分～11時

場 所: 保健センター

※相談については、随時対応。また健康福祉課でも相談実施。

また、必要に応じて県健康福祉事務所(保健所)が実施しているこころのケア相談
(精神科医師による相談、1回/月)を紹介。

○ 法律相談

兵庫県司法書士会多重債務者対策委員会による無料相談

相談日: 毎月第2土曜日

午後1時から午後4時まで

場 所: 福崎町文化センター

○ なやみごと相談

学識経験者等によるなやみごと相談

相談日: 毎月第1・3水曜日

午後1時から午後3時まで

場 所: 福崎町サルビア会館

※内容によって、弁護士による法律相談を実施

(3) 健康教育

○ 気功教室

「気」の流れを良くし、身体のリズムを整える。半年コース(4月～9月、10月～3月)で開催。

○ 粋々倶楽部(介護予防事業で実施)

閉じこもりがちになり、生活が不活発になってしまったという方に対して、出かける場をつくり、生きがい作りを目指す。

○ やすらぎ訪問(介護予防事業で実施)

高齢者宅を「やすらぎ支援員」が訪問し、家族に代わって見守りや話し相手を行う。